



癒しの家ギャラリー

内容は変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

現場報告

宇多津町で、平屋の新築工事を行っています。



自然素材の桧の家に、高気密高断熱工法を取り入れ、吹付発泡ウレタンを屋根・外周壁に施しています。外皮の断熱性能は、ZEH基準0.6を上回る0.51w/m²Kです。周囲の環境に調和し、素材と性能を兼ね備えた高付加価値の住まいは、今年の年末に完成予定です(*^▽^*)

外壁は、今注目されている**白洲そとん壁**を塗ります。

スーパー白洲そとん壁Wとは…



施工の流れ

通気シート→バラ板下地→通気シート→メタルラス張り→下塗り+ファイバーメッシュシート→上塗り仕上

外壁材の概念を覆す、超高機能・超高耐久性外壁材

シラスだからこそ実現できた驚異の二大機能「防水」+「透湿」
軽量モルタル、サイディングを圧倒する既成概念を超えた非常識な外壁です!

- 特長**
- ・100%自然素材なのに完全防水。シラスの特性を活かした二層構造で雨水の浸入をシャットアウト。
 - ・厳しい自然環境にも劣化しない高耐久性。退色・劣化がおきにくいから、建物の維持管理が軽減できます。
 - ・本物ならではの際立つ質感。他の素材では決して真似のできない生命力溢れるデザイン性。
 - ・下塗り材でしっかり防水しながら上塗り材がたっぷり保水。壁面からの気化熱作用で建物を冷やす涼感空調システム「クルクール」を設置すれば、地球環境保護にもさらに大きく貢献します。



壺谷建設株式会社



〒767-0001 香川県三豊市高瀬町上高瀬4番地1
TEL 0875-74-3881 FAX 0875-74-3882

□ <https://www.tsuoya.jp/> 壺谷建設 □
✉ info@tsuoya.jp



建設業許可番号:香川県知事許可(特-30)第1181号
※つばや流が必要ない場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

住まいづくりの勉強会

日 程	5月17日(日) / 6月21日(日)
時 間	10:00~12:00
参 加 費	無料
定 員	3組程度
セミナー内容	?

- ・マイホーム検討の第一歩は適切な予算の把握から
- ・初心者様にお勧め!自分の適切な住宅購入の予算の計算方法は!?
- ・マイホームを購入するタイミングあなたの場合はいつ?
- ・失敗する人」と「成功する人」の家づくりの視点の違いとは!?
- ・金利動向etc...年金受給年齢からみたローン返済計画
- ・住宅ローン破綻を避けて、ローン返済負担を軽減する方法
- ・その他

ご興味のある方はぜひぜひ
ご参加くださいませ☆
ご予約のお申込は、
5月16日(土) / 6月20日(土)までに
頂けましたら幸いです。



暖かい日差しは嬉しいけれど、あれ?もしかして日焼けしてる?



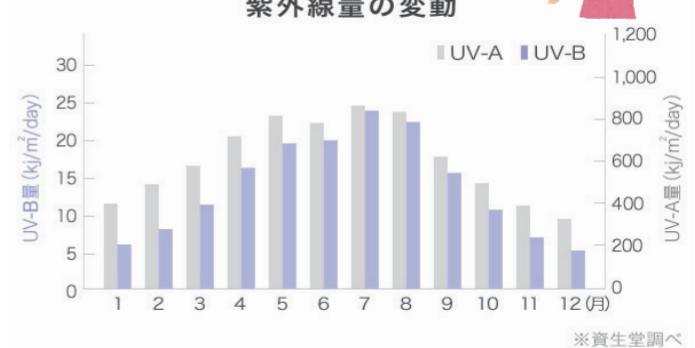
日傘や帽子、日焼け止めクリームを塗ったりと、そろそろ紫外線対策が必要ですよね。おうちの中なら大丈夫?いえいえ、そんな事はありません。紫外線は、窓ガラスやカーテンをすり抜けて、お部屋の中まで入ってきます。日当りの良い窓辺では、約80%!そうではない場所でも、反射や散乱したりして、約10%の紫外線が入り込んでいるのだそうです。いやいや、おうちの中でも紫外線対策は必要なんですね。私たちのお肌へはもちろん、畳やフローリング、家具などの日焼けも気になりますよね。

おうちの中へ入ってくる紫外線、どう防ぐ?

室内の紫外線は、主に窓から入ってきます。窓からの侵入を防ぐ有効な方法としては、まず、紫外線防止フィルム(UVカットフィルム)を窓に貼ることが挙げられます。製品にもあります、これで約99%もの紫外線を防ぐ事ができます。また、UVカット加工のカーテンを使うのも効果的です。UVカット加工されていないカーテンでも、UVカットスプレーをシュッシュッとかけてみましょう。それだけでUVカットカーテンに早変わりです。特に日焼けさせたくないものには、直接布を掛けて日光を遮っていましょう。

外壁塗装は紫外線でも劣化する!

外壁の劣化は、雨風などの影響が大きいと考えるかもしれません、原因はそれだけではありません。太陽光が外壁に及ぼす力はとても強く、紫外線による影響で外壁が酷く劣化してしまうことがあります。



紫外線によって起きる外壁の劣化には、様々なものがありますが、外壁を触ると手に白い粉が付く現象をチョーキング現象といいます。白い粉の正体は塗料に含まれている顔料で、お家の外壁が何年も紫外線を浴びると、塗装の顔料が分離していき、白い粉となって外壁の表面に出てきます。あなたのお家で外壁にチョーキング現象が起きていたら、実は外壁塗装の時期が来ているサインの一つです。お家の外壁塗装は10年に一度を目安に行なうのが一般的ですが、チョーキング現象も10年前後で発生することが多く、外壁の塗り替え時期が来ていることを確認できます。また、チョーキング現象と一緒に、ひび割れや剥がれなど、別の劣化症状が出始める可能性も高いので、お家の傷みが酷くなる前に、外壁塗装を検討しておきましょう!



お宅訪問 31 「築33年の住まいに安心と快適を」

今回は三豊市豊中町でリフォーム工事(竣工2013.7)を行なった、K様にお話を伺ってきました。

住むほどに価値と愛着が増す大切な我が家。
使いやすさと心地よさにこだわったリフォームは、
日々の暮らしを豊かに。

一どのような経緯でリフォーム工事に至ったのですか?
もともと敷地内に築33年の家と築15年の家が2つ並んで建っていたのですが、古い家は老朽化が進み、床もノリが剥がれてブカブカと浮いていました。新しい家と比べるとどうしても見劣りするし、住宅としての機能性や快適性の面を考えてもリフォームが必要だと思いました。

一なぜ、弊社をお選びいただけたのでしょうか?
地元ということもありましたし、壺谷建設さんはすてきな和風住宅をたくさん手がけていて、とてもセンスがいいと感じていたので、お願いしようと思いました。



一リフォームするにあたって、こだわった所はありますか?

古い家がとにかく寒かったので、「寒さ対策」にはこだわりました。リビングに床暖房を入れ、キッチンの内窓は冷たい外気を遮断するため2重窓に。昔ながらのタイル張りで寒かったお風呂も直してもらいました。あとは、キッチンが垂れ壁で区切られていて暗かったので、リビングと対面式にして明るくオープンなスタイルに変えました。

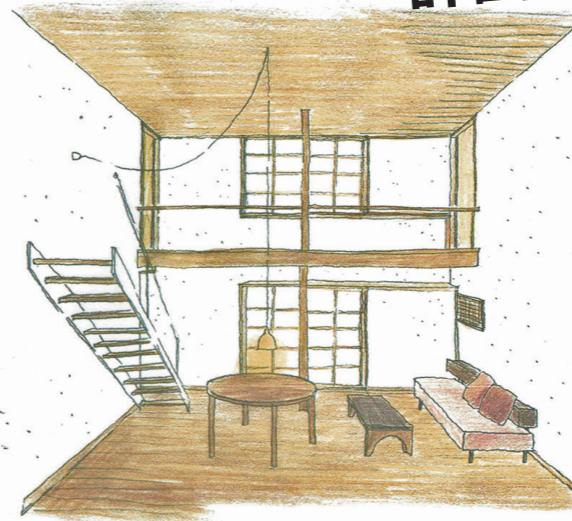
一実際、住んでみていかがですか?

主人も私も気に入っているのが、やっぱり床暖房。冬場は足元がポカポカと暖かくて気持ちがいいです。だからお客様が来てもスリッパをすすめません(笑)。そして、水回りとキッチンが回遊できる動線になったので、台所仕事をしながら洗濯機を見ることができたり、お風呂が近くなったりして、とても使いやすくなりました。また、軽く開け閉めができる吊り戸にしたのも正解。最後まで手を添えなくても、スッと自然に閉まるので便利です。

一家づくりをお考えの方にアドバイスをお願いします。

壁も塗り替えもらつたのですが、我が家は昔ながらの土壁です。竹小舞で編まれた土壁は、地震に強く、耐火性もあり、調湿効果が高いので、高温多湿の日本の気候には最適。昔の人は本当に理にかなった家の作り方をしていると思います。ボードを張り合わせて簡単に建つ家が多い今だからこそ、手間を惜しまず道理にかなった日本の伝統的な家づくりも大切にしてほしいですね。

モデルハウス 計画中です!



弊社社屋での打合せ風景(昨年末)

弊社の設計力向上とものづくりの更なる品質向上のために、弊社設計士が伊礼氏の住宅デザイン学校に通い、現在レベルアップを図っております。その中で、『住宅』と『庭』を別々に考えるのではなくひとつの『住まい』として捉え、小さくても庭を入れる住宅提案をしていきたいと考えております。お客様に喜んでいただける家づくりのために、社員一丸となって努力していく所存です。壺谷建設の新しいモデルハウスをお楽しみに☆△進捗は随时、弊社ホームページなどでお知らせしていきます。

伊礼智氏プロフィール



建築家 伊礼 智(いれい さとし)氏

1959年 沖縄県生まれ
1982年 琉球大学理工学部
建設工学科計画研究室
卒業
1985年 東京芸術大学美術学部
建築科大学院修了
丸谷博男+エーアンドジーを経て
1996年 伊礼智設計室開設
2005年~2016年
日本大学生産工学部
建築工学科「居住空間
デザインコース」
非常勤講師

2012年~ 住宅デザイン学校 校長
現在、東京芸術大学美術学部建築科ならびに共立女子大学の非常勤講師を務めるほか、全国で講演や設計指導を行う。2006年「東京町家・9坪の家」、2007年「東京町家・町角の家」でエコビルド賞受賞、2013年、i-works projectでグッドデザイン賞他多数受賞。
住宅から家具まで、環境を考慮した設計には定評がある。

【くらしこの家】へ見学に行きました!



今回、モデルハウス建設にあたり、岐阜県の野村建設さんが伊礼氏と造園家の萩野氏とコラボしたモデルハウス「くらしこの家」へ見学に行ってきました!

余計などろにデザインを加えず、シンプルですが、洗練されたモデルハウスでした。壁ではなく造作の家具で間仕切り、隅に窓を配置することで、坪数が小さく天井高を抑えても、空間に広がりが生まれます。さらに、その地域ならではの里山の風景を取り入れられるよう、開口部が設計されているので、中と外がつながり、庭と一体となっています。

また、野村建設さんでは、外皮のUA値平均が0.41ということで、高気密・高断熱の家づくりを知るため、建築中の現場も見学させていただきました。

とても勉強になった一日でした。野村建設井上社長様、伊礼さん、お忙しい中ありがとうございました!